

第2章 医療施設調査・病院報告

1 施設数

平成30年10月1日現在の病院数は49施設（精神科病院8施設、一般病院41施設）で、前年に比べ2施設減少した。一般診療所は723施設で、前年に比べ2施設増加した。病床の有無でみた一般診療所数は、前年と比べて有床が同数、無床が2施設増加した。歯科診療所は269施設で、前年に比べ2施設減少した（表3-1）。

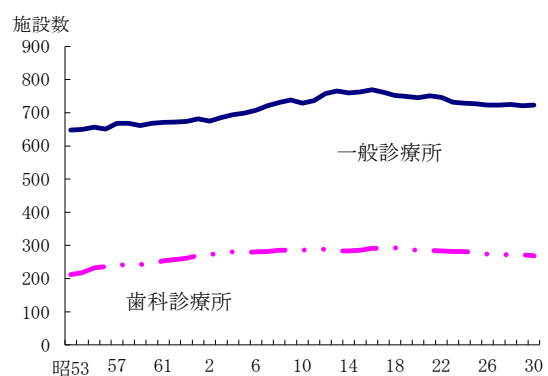
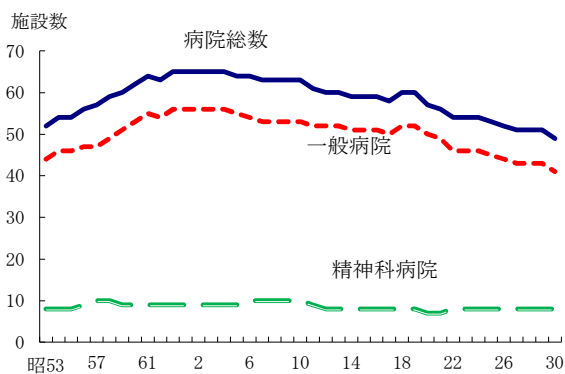
表3-1 医療施設の種類別にみた施設数

	施設数			構成割合 (%)	
	平成30年	平成29年	増減数	平成30年	平成29年
総数	1,041	1,043	△ 2	100.0	100.0
病院	49	51	△ 2	4.7 (100.0)	4.9 (100.0)
精神科病院	8	8	-	(16.3)	(15.7)
結核療養所	-	-	-	(-)	(-)
一般病院	41	43	△ 2	(83.7)	(84.3)
一般診療所	723	721	2	69.5 (100.0)	69.1 (100.0)
有床	42	42	-	(5.8)	(5.8)
無床	681	679	2	(94.2)	(94.2)
歯科診療所	269	271	△ 2	25.8	26.0

注：（ ）内の数値は病院、一般診療所の総数を100とした場合の構成割合である。

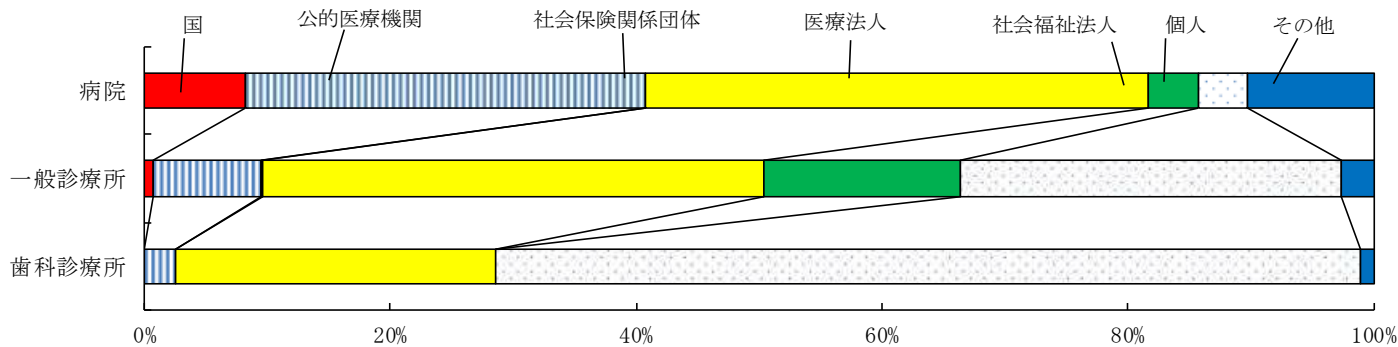
病院数の年次推移をみると、一般病院は昭和61年までは年々増加していたが、昭和63年から平成4年の65施設をピークに緩やかな減少傾向にある。精神科病院数は7～10施設で横ばいに推移している。一般診療所は平成16年までは緩やかな増加傾向にあったが、平成17年から減少傾向にある。歯科診療所は、緩やかな増加傾向にあったが平成18年をピークに減少に転じている（図3-1）。

図3-1 医療施設数の年次推移



医療施設の開設者割合をみると、病院は最も多いのが医療法人の40.8%で、ついで県、市町村等の公的医療機関の32.7%である。一般診療所は平成10年には個人が5割、医療法人が3割弱を占めていたが、年々個人の占める割合が減少し、医療法人の占める割合が増加したため、平成20年には医療法人が個人より多くなった。一般診療所における平成30年の状況は、医療法人が40.7%、個人が31.0%である。歯科診療所は大部分が個人で、70.3%を占めており、ついで医療法人が26.0%となっている（図3-2）。

図3-2 医療施設の開設者割合（%）



人口10万対施設数を前年と比べると、病院が0.2減少し、一般診療所が1.0増加した。全国と比べると、病院は0.6、一般診療所は25.5高く、歯科診療所は14.7低くなっている（表3-2）。

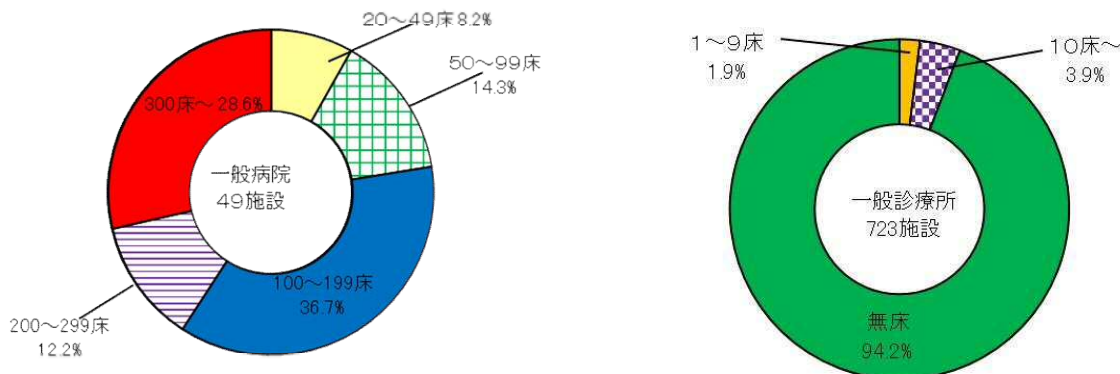
表3-2 人口10万対医療施設数

	島根県		全国
	平成30年	平成29年	平成30年
病院	7.2	7.4	6.6
一般診療所	106.3	105.3	80.8
歯科診療所	39.6	39.6	54.3

一般病院を病床規模別にみると、20~49床が8.2%、50~99床が14.3%、100~199床が36.7%、200~299床が12.2%、300床以上が28.6%であった。

一般診療所は1~9床1.9%、10床以上が3.9%、残りの94.2%は無床である（図3-3）。

図3-3 一般病院、一般診療所の病床規模別割合



2 病床数

平成30年10月1日現在の病院の病床数は前年に比べ89床減少した。病床の種類別にみると、療養病床が52床、一般病床が55床それぞれ減少した。

また、一般診療所の病床数は前年から18床増加した（表3-3）。

表3-3 医療施設の種別別にみた病床数

	病 床 数			構成割合 (%)	
	平成30年	平成29年	増減数	平成30年	平成29年
総 数	10,950	11,039	△ 89	100	100
病 院	10,450	10,557	△ 107	95.4 (100.0)	95.6 (100.0)
精神病床	2,277	2,277	-	(21.8)	(21.6)
感染症病床	30	30	-	(0.3)	(0.3)
結核病床	16	16	-	(0.2)	(0.2)
療養病床	2,050	2,102	△ 52	(19.6)	(19.9)
一般病床	6,077	6,132	△ 55	(58.2)	(58.1)
一 般 診 療 所	500	482	18	4.6	4.4
歯 科 診 療 所	-	-	-	-	-

注：（）内の数値は病院の病床数総数を100とした場合の構成割合である。

人口10万対病床数を前年と比べると、病院では、精神病床が2.5、結核病床が0.1増加し、療養病床が5.4、一般病床が1.5減少した。

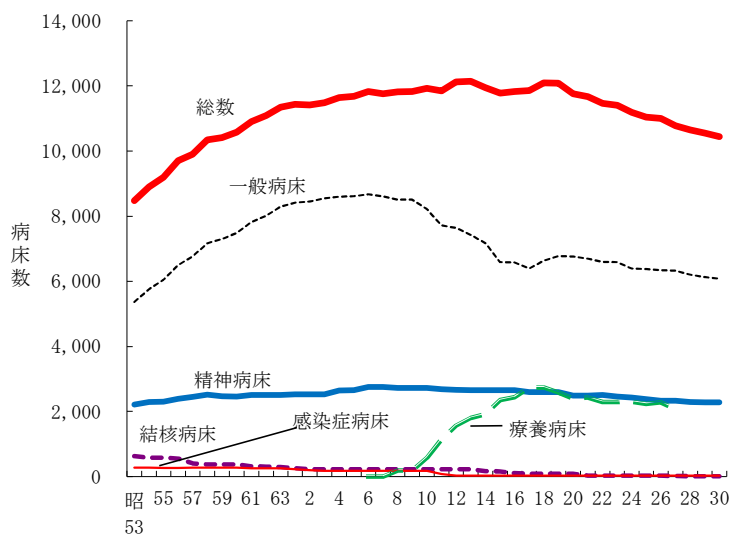
また、一般診療所は前年より3.1増加した。病院における人口10万対病床数は、全国よりかなり高くなっている（表3-4）。

表3-4 人口10万対病床数

	島根県		全国
	平成30年	平成29年	平成30年
病 院	1,536.8	1,541.2	1,223.1
精神病床	334.9	332.4	260.7
感染症病床	4.4	4.4	1.5
結核病床	2.4	2.3	3.8
療養病床	301.5	306.9	252.7
一般病床	893.7	895.2	704.4
一 般 診 療 所	73.5	70.4	75.0

病院の病床数の推移をみると、総数は緩やかな上昇傾向にあったが、平成18年をピークに減少に転じた。一般病床は平成10年以降、療養病床の増加に伴い減少傾向にある。一方、療養病床は平成8年以降、年々増加していたが、平成18年の2,740床をピークに減少している（図3-4）

図3-4 病床の種類別みた病院の病床数



注1: 「一般病床」は、昭和62年～平成4年は「その他の病床」、平成6年～平成12年は「その他の病床（療養型病床群）をのぞく」、平成13・14年は「一般病床」及び経過的古その他の病床（経過的古療養型病床をのぞく）」である。

注2: 「療養型病床」は、平成12年までは「療養病床群であり、平成13・14年は「療養病床」及び「経過的古療養型病床群」である。

3 診療科目

県内 49 施設の病院のうち、内科を持つ病院が最も多く 45 施設で、ついで整形外科が 34 施設、外科が 30 施設となっている。平成 29 年と比べると皮膚科等 2 診療科目が増加し、内科等 5 診療科目が減少した。

一般診療所 723 施設のうち、最も多い診療科目は内科の 558 施設であり、ついで小児科が 154 施設、消化器内科（胃腸内科）が 132 施設、循環器内科が 98 施設となっている。平成 29 年と比べると、腎臓内科等 8 診療科目が増加し、内科等 14 診療科目が減少した（表 3-5）。

表 3-5 診療科目別にみた病院数、一般診療所数（重複計上）

	病 院			一 般 診 療 所		
	平成30年	平成29年	増減数	平成30年	平成29年	増減数
内科	45	47	△ 2	558	561	△ 3
呼吸器内科	16	17	△ 1	45	46	△ 1
循環器内科	24	24	-	98	99	△ 1
消化器内科 (胃腸内科)	21	21	-	132	134	△ 2
腎臓内科	8	8	-	4	3	1
神経内科	31	31	-	34	34	-
糖尿病内科 (代謝内科)	7	7	-	16	15	1
血液内科	4	4	-	4	4	-
皮膚科	25	23	2	50	51	△ 1
アレルギー科	2	2	-	36	36	-
リウマチ科	3	3	-	23	23	-
感染症内科	-	-	・	2	2	-
小児科	26	26	-	154	156	△ 2
精神科	24	24	-	54	55	△ 1
心療内科	6	6	-	35	36	△ 1
外科	30	32	△ 2	64	65	△ 1
呼吸器外科	9	8	1	-	-	・
循環器外科 (心臓・血管外科)	7	7	-	1	1	-
乳腺外科	5	5	-	3	2	1
気管食道外科	-	-	・	-	-	・
消化器外科 (胃腸外科)	3	3	-	4	3	1
泌尿器科	21	21	-	20	20	-
肛門外科	4	4	-	14	15	△ 1
脳神経外科	15	15	-	11	11	-
整形外科	34	35	△ 1	63	62	1
形成外科	7	7	-	8	8	-
美容外科	-	-	・	2	2	-
眼科	21	21	-	53	52	1
耳鼻いんこう科	22	22	-	29	29	-
小児外科	3	3	-	1	2	△ 1
産婦人科	16	16	-	16	17	△ 1
産科	1	1	-	1	1	-
婦人科	6	6	-	12	11	1
リハビリテーション科	29	30	△ 1	60	59	1
放射線科	21	21	-	24	25	△ 1
麻酔科	21	21	-	14	16	△ 2
病理診断科	7	7	-	-	-	・
臨床検査科	1	1	-	-	-	・
救急科	3	3	-	-	-	・
歯科	6	6	-	6	6	-
矯正歯科	-	-	・	-	-	・
小児歯科	-	-	・	-	-	・
歯科口腔外科	12	12	-	-	-	・

4 利用状況

平成30年の1日平均在院患者数は8,371であり、前年から132減少した。うち、精神科病院は3人、一般病院は129人減少した。1日平均新入院患者と1日平均退院患者数はともに293人で、前年と同数であった。1日平均外来患者数は7,229人で、前年から112人減少した(表3-6)。

表3-6 病院・病床の種類別にみた1日平均在院・新入院・退院・外来患者数

	1日平均在院患者数			1日平均新入院患者数		
	平成30年	平成29年	増減数	平成30年	平成29年	増減数
病院総数	8,371	8,503	△132	293	293	-
精神科病院	1,500	1,503	△3	5	5	-
一般病院	6,871	7,000	△129	288	288	-
病床総数	8,371	8,503	△132	293	293	-
精神病床	1,945	1,962	△17	8	8	-
感染症病床	-	-	-	-	-	-
結核病床	5	6	△1	-	-	-
療養病床	1,724	1,759	△35	9	9	-
一般病床	4,698	4,776	△78	276	276	-

	1日平均退院患者数			1日平均外来患者数		
	平成30年	平成29年	増減数	平成30年	平成29年	増減数
病院総数	293	293	-	7,229	7,341	△112
精神科病院	5	5	-	389	387	2
一般病院	288	288	-	6,840	6,954	△114
病床総数	293	293	-	・	・	・
精神病床	8	8	-	・	・	・
感染症病床	-	-	-	・	・	・
結核病床	-	-	-	・	・	・
療養病床	12	13	△1	・	・	・
一般病床	273	272	1	・	・	・

注：端数処理のため、総数と内訳の集計数値が一致しない場合がある。

平成30年の病院の病床利用率は、総数が80.0%、精神病床が85.4%、療養病床が83.7%、一般病床が77.2%、結核病床が30.1%、感染症病床が0.2%であった。(図3-5)

図3-5 病床の種類別にみた病院病床利用率の年次推移

